

平成31年3月

甲斐市議会議長 長谷部集 殿

甲斐市民クラブ  
会長 五味武彦

## 視察研修報告

下記の通り実施いたしましたので報告いたします。

### 記

1. 実施日 平成30年8月24日～25日
2. 主催 自治体議員政策情報センター
3. 研修先 沼津情報ビジネス専門学校
4. 参加者 小浦宗光、斎藤芳夫、金丸寛、五味武彦、滝川美幸、横山洋介
5. 視察内容

全国政策研究集会に参加して

自治体議員政策情報センターの主催により、第10回全国政策研究集会が2日間のスケジュール行われました。1日目は、川勝平太静岡県知事からの特別講演と多くのメディアで活躍している谷口真由美氏からの基調講演が行われました。その後と2日目は各分科会となり興味のあるテーマに分かれ各自が勉強をしました。以下は、各講演会及び分科会の学習内容です。

#### ・特別講演

「静岡県から地方自治を考える」 静岡県知事 川勝平太 氏

静岡県は日本のシンボルである富士山について、「学び」、「考え」、「想い」を寄せ、後世に継ぐことを期して毎年2月23日を「富士山の日」と決めました。この富士山を中心とした政策を進め、富国有徳の理想郷「ふじのくに」づくりを基本理念とした総合計画と「ふじのくに」宣言など、前面に富士山を押し出した県政運営を実行しています。富士山が世界文化遺産登録されたことによる、今後の県政へ想いなどなど短時間で講演くださいました。一つのアピールできる誰もが知っているキーワードを元に大きな自治体を一つにまとめています。「静岡県＝富士山＝〇〇」というイメージをつくりだし、まちづくりに取り組む姿勢を学びました。

・基調講演

「日本一わかりやすい憲法のはなし」 大阪国際大学准教授 谷口真由美 氏

おばちゃんでも理解できる日本国憲法という内容で、これまでも多くのメディアで活躍している講師から、短時間ということもあり重要な条文のみを解説していただきました。現行憲法について護憲と改憲で二分されようとしている中、中立な立場において、守るべきところや課題のあるところなどを指摘し、地方自治の視点からも講演くださいました。特に「権利」のことについて強く訴えており、先人たちが勝ち取った権利を容易く手放すことなく、不断の努力により守っていかねばならないということが印象に残っています。まずは全国民がもう一度憲法を読み直し、理解するところから始めなければ、憲法議論に入れないと考えました。

**分科会 1 日目**

I-2 「憲法・地方自治・議員のめざす姿」

元我孫子市長 福嶋浩彦 氏

静岡市議 松谷清 氏

自治体議会と国会の差について学び、自治体政治が直接民主主義の土台の上にあるということを論理的に学びました。また、福嶋氏からは市長時代に実際に行なっていたノウハウを披露していただき、市民中心の政治を行うための考え方などについて講義くださいました。執行の都合で大型事業を一方向的に進めることが多い中、住民を巻き込んだ政治を首長、そして議員が心掛けることにより、住民の望んだ政治へ転換できることを再認識できました。そのためには、政治を透明化にすること、そして情報発信を常にしていくことを学びました。

(記：横山洋介)

I-3 「地域からのエネルギーシフト！再生可能エネルギーへ」

NPO環境エネルギー政策研究所所長 飯田哲也 氏

日経新聞編集局編集委員兼キャスター 鈴木亮 氏

原発だのみから再生可能エネルギーへのシフトが世界的にも始っている。海外からの厳しい視線が投資対象である日本企業のエネルギー対策にも注がれていて、経営の中核テーマに優先順位が上がってきている。地域に合った「太陽光」「風力」「地熱」「バイオマス」等の再生可能エネルギーへの転換を計っていく必要性を強く感じた。現在進めている甲斐市の「木質バイオマス」を「地産地消」と位置付け、地域が便益を受けるエネルギーシフトが急がれる。

(記：金丸寛)

## 分科会2日目

### Ⅱ-1「個として繋がり合い、支え合っていける社会づくり／若者・生活困窮者支援」

静岡県立大学教授 津富宏 氏

静岡市こども未来局未来課長 橋本隆夫 氏

「働きたくても働けない」「社会との関わりに不安がある」など生活に不安を抱えている人などに寄り添い、支え、さらに地域を作り直し、地域が解決者となっている静岡の実践活動から、相互扶助の社会をつくっていく生活困窮者支援、子どもの貧困対策について学びました。前半は静岡市が策定した「静岡市こども貧困対策推進計画」を中心に講義を進めました。後半は、青少年の就労支援「静岡方式」について長年の実体験にもとに、取り組み状況などの講義をされました。沼津市に事務所を構え NPO として若い人たちの就職支援活動をしている津富先生はパワーポイントでスピーディに活動を紹介して下さいました。地域の人と人のつながり方を変えながら、ネットワークで繋がることの重要性、一人ひとりの顔が見え、話しが聞ける集まりを各地で増やしていく必要がある、そして「適切なサポートがあればどんな人（若者）でも働けます」「思いさえあれば資格なんかいりません誰でも人を応援できます」と熱く語って下さいました。また、静岡市こども未来局橋本課長のお話の中で、未来の地域のために子どもたちへの支援にしっかりと取り組んでいる静岡市の姿が伝わってきました。「子ども未来局」という部局名に大変に重要な位置付けであることがわかります、甲斐市においても子育て支援は最重要課題として取り組んでいかなければならないと再確認しました。

(記：滝川美幸)

### Ⅱ-3「超巨大プロジェクト“リニア中央新幹線”が日本を破壊する?!」

登山家 服部隆 氏

リニアを考える自治体議員懇談会代表 山田厚 氏

焼津市在住の登山家の服部隆氏は、こよなく南アルプスを愛している方でした。リニアによる自然破壊、生態系の変化、リニアトンネルを横切っている、静岡糸魚川構造線断層の地震による危険性は、又、登山道の近くに建設予定の、工事中の大型作業員宿舎が与える環境の変化などについて、熱く語られていたことは、興味深く勉強になりました。山田厚氏の講演は日頃から聞いている通り、反対ありきの持論の展開で、内容は理解できるが、夢のかけらもなく大変残念でありました。私は出身が浜松市なので、中学生の頃近くを走ることになっていた東海道新幹線に、大きな夢を乗せていたころを思い出しながら聴いていましたが、今リニアに若者たちがどういう考えを持っているか、否定的な部分だけでなく、夢や希望はどうか、意見を聞く機会があれば、との思いを強くしました。

(記：斉藤芳夫)

視察写真

